

JA北魚沼版 常時湛水運動の実践!!

水が必要な時期です!

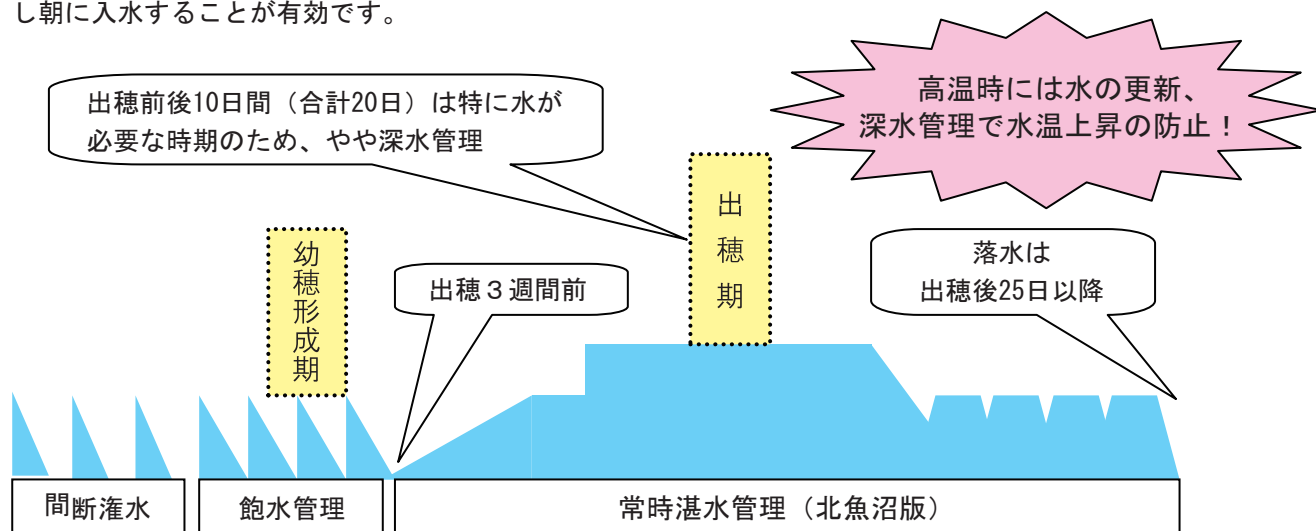
出穂期前後は、水稻が最も水分を必要とする時期です。この時期の水不足は…

- ①不稔や受精障害等が発生しやすい。
- ②品質低下や減収の直接的な原因となる。

上記のことから、出穂期前後10日間はやや深水管理としましょう。地域全体で用水の有効利用を行うためにも常時湛水管理を行いましょう。

水の入れ替えを!

減水が少ない水田や水温が上がっている場合は水の入れ替えを行いましょう。水温を下げるには、夕方に落水し朝に入水することが有効です。



高温時は!

台風やフェーン時には、葉からの蒸散による脱水症状や強風による傷みを防止するため深水としましょう。高温時の水分不足は品質・収量低下に直結します。

登熟期も水が必要!

完全落水は出穂後25日以降が基本です。稲は生理的に収穫直前まで水分を必要とするため、地耐力確保を考慮したうえで、成熟期まで常にほ場には水分がある状態を保ちましよう。

用水が不足する場合

用水が不足し、緊急時に深水管理ができない場合でも、出穂期以降は極力、土壌の湿潤様態を保つよう心掛けてください。

栽培記録カードについて

飯米農家でも、カントリーエレベーターやライスセンターの利用者は、栽培記録カードの記帳・提出が必要です!